



**株式会社日本セラテック**  
代表取締役社長 川田 正興 氏

住所 : 仙台市泉区明通三丁目5番  
設立年 : 昭和62年  
業種 : エンジニアリングセラミックス及び  
エレクトロニクスセラミックス製品の開発、製造、販売  
資本金 : 1,795百万円  
従業員 : 234名  
URL <http://www.ceratech.co.jp>

**独自の高品質材料と世界トップレベルの超精密加工技術等により、  
先端産業ヘトータルソリューションを提供**

**事業の概要**

日本セメント㈱（現 太平洋セメント㈱）の新規事業開発のための子会社として設立。以後、当社独自の高品質材料と超精密加工の技術を発展させ、半導体・液晶、電子機器をはじめとする世界の先端産業分野に高機能のファインセラミックス部品等を供給している。仙台を中心に4工場体制で、半導体製造装置メーカー等に主要サプライヤーとして応え続けている。  
（特許保有7件、出願中25件）



社内風景



本社社屋



新工場

**受賞の理由**

当社の基本戦略は、顧客本位の製品作りを心掛け、多品種少量生産で顧客のニーズや要望にきめ細かく応え、顧客にトータルソリューションを提供することにある。

主力のエンジニアリングセラミックス事業においては、独自の高品質材料に世界トップレベルの超精密加工技術を付加した半導体・液晶製造装置用セラミックス部品を供給している。材料開発から超精密加工までの一貫した生産体制を確立し、顧客の問題解決への対応を徹底するなど高い評価を得ている。さらに、溶かしたセラミックスを金属表面に吹き付けた「溶射部品」の生産や、洗浄能力が格段に高い独自のドライ洗浄法による半導体製造装置部品のクリーニング事業、半導体ウエハー固定に使用される「静電チャック」の製造、販売の強化など、顧客のあらゆる要望に対応できる体制の構築を目指している。品質管理の観点からISO9001認証を取得している。

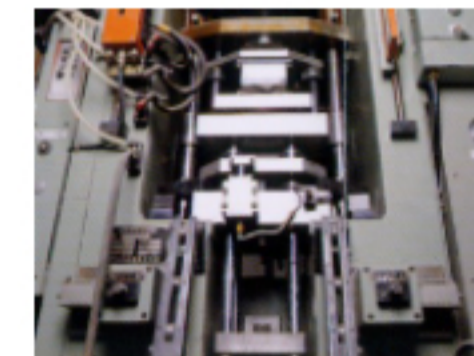
エレクトロニクスセラミックス事業では、独自の薄膜セラミックス焼成技術、特に積層技術に特徴があり、より高付加価値な圧電セラミックス部品を供給しており、デジタル家電や小型の高付加価値家電に使用されている。

技術開発こそ唯一の収益源という考え方のもと、東北大学大見忠弘名誉教授を技術顧問として迎え、産学連携等のネットワークを活かし、独自のセラミックス素材「ポアフリー」を開発するなど最先端の技術開発に積極的に取り組んでいる。平成16年10月には半導体・液晶製造装置の中核部に軽量セラミックスを使うことにより、重量を従来の3割程度に抑えた新製品を開発し、半導体の製造効率アップが見込まれている。

平成15年11月ジャスダックへの株式公開をはたし、平成16年にはエコアクション21に参加し環境保全活動を全社的に遂行するなど、常に半導体・液晶製造業界等に大きい存在感を示し続けている。世界に向けた新たな先端技術の発信に邁進する経営戦略と共に、県内の製造業や業界を牽引する企業として影響は極めて大きく今後とも大きな飛躍が期待される。



ボールミル



メカプレス成形機



真空焼結炉（非酸化物焼成）



エンジニアリングセラミックス



エレクトロニクスセラミックス



ポアフリーセラミックス

● ご商談等につきましては、掲載企業に直接お問い合わせ下さい。

▶BACK